

おひさま通信



第 8 号

2012年4月
発行：NPO法人
おひさま生活塾

ごあいさつ

理事長 田中 紀代美

平成 24 年 3 月 31 日をもって、8 年間慣れ親しんできた宇部総合支援学校の校長官舎に別れを告げました。一番さみしく悲しいのは、にこにこクラブの子どもたちと保護者・職員ではないかと思っています。

学校が終わるとにこにこクラブの職員と一緒に、雨の日も風の吹く日も頑張っ各自の大きな荷物を持ち、校長官舎まで歩いて帰りました。着替えを済ませ、みんなでおやつを食べ、ホッとするような雰囲気の中、保護者のお迎えまでをみんなで楽しく遊んで過ごしました。

開所当時からずっと利用してきた子どもたちもたくさんいます。保護者のパソコン教室をしたり、会議をしたり、保育の準備をしたりとみんなで集える思い出の場所でした。諸事情により立ち退きになってしまいましたが、多くの皆様のご尽力により、4 月 1 日より厚南小学校の 1 室をお借りすることができました。最初は部屋を見て心配なことが多すぎ、眠れない日もありましたが、引っ越しもたくさんの方々のお手伝いにより何とか無事に終わり、新しい場所での生活が始まりました。

大人は子どもたちが環境の変化に慣れてくれるだろうか、パニックにならないだろうか心配していたのがウソのように、ソファでリラックスしている子どもたちの様子を見てほっとしています。大変な部分はたくさんありますが、気持ちを切り替え、子どもたちと一緒に新たな環境の中で楽しんでいきたいと思ひます。いろいろとご協力ありがとうございました。

また厚南小学校の構内での活動という事で、一人でも多くの子どもたちと触れ合い、障害のことを知ってもらえるいい機会になれば、にこにこクラブの子どもたちも地域で生活しやすくなるのかなと思ひます。



笑顔があふれる「おひさまクラブ」

今年は「フロンティア大学チャイルドセンターをお借りしました」

河内 裕子

今年は、宇部総合支援学校が工事中ということで、宇部フロンティア大学のチャイルドセンターでありました。この場所に初めて訪れた子どもさんたちも多かったのではないかと思います。私はというと、遠い昔（たぶん 10 年以上前のおひさまクラブがはじまったばかりの頃）に参加して以来だったので緊張と不安、そして大きな期待を持って参加しました。

場所が変わるといふことは、環境が変わるわけですから、参加されているお子さんたちの不安がまず心配です。それに続いて、スタッフである保護者の方々にとっては、いつもと勝手が違い、事前の環境作りにもご苦勞が沢山あったのではないかと思います。実はそんなスタッフの方々のおかげで、夏休みおひさまクラブは、本当に楽しい時間が流れていたのです。

毎日の活動としては、午前中は、日替わりで音楽あそびや体育あそび、そしてゲームなどを中心とした療育の時間があり、引き込まれるように集中して取り組んでいる姿が多く見られました。午後は、プール遊びです。猛暑の中なので、水を使った遊びが嬉しいのはいうまでもありませんが、この時間に発散するという、とても大切な役割があったと思ひます。



学校のプールに比べるとずいぶん小さいプールだったのですが、子どもたちにとっては、十分楽しい空間になっていたようで、全身をダイナミックに動かし、大きくて元気な声で溢れていました。

一日の活動時間の中でメリハリをつけることによって、子どもたちはさらに楽しめたと思えました。その証拠に、「楽しくて帰りたくないよ～」と訴えている子どもたちの姿を何度も目にしました。それを笑顔で見守る、愛情たっぷりの優しいお母

様方が印象に残りました。

学生ボランティアの方が沢山参加していらっしやることにもびっくりしました。色々な方々に協力していただける態勢が、毎年続けていることや、日常のおひさま生活塾としての会の活動によって培われています。学生ボランティアの方も、日を追うごとに子どもたちと仲良くなっていました。笑ったり、びっくりしたり、困ったり・・・色々な体験ができたのではないかと思います。きっと両者にとって、かけがえのない経験になったのではないのでしょうか。

そうそう、今回は「夏休みおひさまクラブ」を周南市から見学に来られていました。NPO 法人を立ち上げる参考したいと聞きましたが、輪が広がっていくと良いなと思っています。

今回、出会った人たちによって、また新しい出会いへと繋がっていけば良いなと願っています。子どもたちがいて、スタッフの方々がいる、それから、沢山のボランティアの方々…。みんなの生き生きとした笑顔があふれている。そんな素敵な空間で一緒に時を過ごせたことは、去年の夏の一番の楽しい思い出として私の心に刻まれたのでした。

川上おひさまクラブ・・・福島の子どもたちと



川上おひさまクラブ事務局 田中文代

今回の川上おひさまクラブには、東日本大震災とその後の福島原発事故以来、以前とは違った生活を余儀なくされていた福島の自閉症のお子さん 7 名がボランティアのみなさんと共に参加されました。市が民間有志と共に立ち上げた「福島の子どもたちとつながる宇部の会」がお世話をされた夏休み中の 8 日間の宇部滞在のプログラムの一環として、一日を川上おひさまクラブで過ぎて頂いたものです。福島から来られた自閉症のおさんは 6 歳から 12 歳までの男子 6 名と女子 1 名。兄弟児のみなさんは、おひさまクラブに参加された方もあり、お母さんと一緒に別行動をされた方もあり、それぞれでしたが、そちらはそちらでレスパイトの時間が取れて大変好評でした。参加当日はちょうど川上おひさまクラブの初日でしたが、「福島の子どもたちとつながる宇部の会」のほうにボランティアで参加された方がたくさんおられて、普段の倍ぐらいの人数になり、川上小学校で一日にぎやかに過ごしました。

午前中のプールは「津波の記憶が残っているのでは？」と心配しましたが、杞憂に終わりました。いつもの通り、ボランティアで見守りに来て下さった消防士さんたちが存分に遊んで下さり、プール修了の鐘を鳴らすと、子どもたちはとても残念そうでした。



お昼のお弁当を食べたあとは日替わりの療育プログラム。この日は体育館で松本耕二先生によるフライングディスクの講習がありました。

夏休みというのは学童期の子どもたちにとって、その年に一回しかやっけてこないかけがえのない時間です。原発事故発生から放射能被爆への不安から屋外で遊ぶこともままならない福島の子供たち。大人たちが果たすべき役割・責任は何なのか、考える機会をもらった今回のおひさまクラブでした。

サンデークラブ



実行委員 松尾京子

余暇活動サンデークラブは月に一回の活動ですが、ボランティアの方達と一緒に色々な楽しい活動を行っています。春は散歩をしながら春を探しに行ったり、ミニ運動会をしたり、夏は七夕飾りを作ったり、ミニプールで水遊びをしたりしています。

秋はハロウインの飾りを作ったり芋ほりをしたり、冬は福笑いやかるたをしたり、おひなさまの飾りを作ったりしています。5月の子どもの日のコンサートと12月のクリスマスコンサートは山本達八さん達に来ていただき、子どもたちもノリノリで歌ったり踊ったりして大盛り上がりミニコンサートとなっています。季節の行事を大切にしながら実行委員が考える工作は毎月とても好評です。サンデークラブはのんびりとアットホームな雰囲気でお母さん同士やボランティアの方達と



情報交換をしたり、時にプライベートな話も聞いてもらったりと私にとって安心して行ける憩いの場となっています。わが子は中学部2年の時から参加させていただいていますが、今春高等部を卒業しました。毎月小学3年生と2歳の弟と一緒に参加しているのですが、2人の弟たちのほうがサンデークラブを楽しみにしています。わが子たちにとっても、素敵な憩いの場となっているようです。皆さんも是非お気軽にサンデークラブに参加してみてください。

4月	15日(第3)	7月	8日	10月	14日	1月	20日(第3)
5月	13日	8月	19日(第3)	11月	11日	2月	10日
6月	10日	9月	9日	12月	16日(第3)	3月	17日(第3)

2012年 実施予定日

にこにこクラブ



安部真琴の母

にこにこクラブを利用させていただいてからもう少しで2年になります。3月までは木曜日以外ほぼ毎日お世話になり、生活の一部になっています。

にこにこクラブは学校の延長のようなアットホームな雰囲気先生方や利用されているお兄さんお姉さんと触れ合えて、行くのが楽しみのようです。

4月から場所が変わってしまいましたが、これからも変わらないまこの大好きなにこにこクラブでいて欲しいです。



☆にこにこクラブの先生からひと言

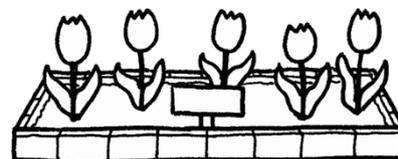
最初はひとつの遊びがなかなか長続きしなかったマコちゃんですが、最近ではみんなと長い時間トランプなどできるようになりましたよ。また歩きもとっても上手になりました。

■2011年度 活動報告■

2011年4月
～2012年3月

サンデークラブ

開催場所：宇部総合支援学校
開催日：毎月第2日曜日



2011年8月

おひさまクラブ

開催場所：宇部総合支援学校・川上小学校
開催日数：宇部フロンティア大学 チャイルドセンター
川上小学校 各6日間

2011年4月
～2012年3月

にこにこクラブ

開催場所：宇部総合支援学校校長官舎
開催日：土(隔週)・日以外毎日(年末年始を除く)

2011年 夏・冬
2012年 春

おひさまミニカフェ

開催場所 宇部フロンティア大学附属幼稚園
宇部フロンティア大学 チャイルドセンター

2011年11月
～2012年2月

おひさまカフェ

開催場所：宇部総合支援学校校長官舎
開催日：毎月第2・4木曜日

2011年4月
～2012年3月

4月

障害児を支えるネットワーク協議会 (隔月1回)

「おひさま生活塾」総会

6月～7月

ボランティア養成講座 5回 社会福祉協議会 共催

7月

福祉委員会研修会にて おひさま生活塾を紹介

■2011年度 決算収支■

収入 4,858,201円 支出 4,060,675円

☆ 寄付 連合山口宇部地域協議会さまから 367,093円

☆ プレゼント 明治製菓ホールディングさまから 大量のお菓子



編集後記

おひさま生活塾のホームページ見られましたか? (<http://ohisama-seikatujyuku.jimdo.com/>)

みなさんの一言(口コミ)を書き込んでみませんか。(愚痴でもなんでもいいですよ)

ホームページを楽しく魅力的なものにしましょう \(\^o^\)/ よろしくお祈りします。